



認定NPO法人環境ネットワーク埼玉通信



E·N·S通信

No.26



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

Saitama Center for Climate Change Actions



Index

表紙寄稿：作山 康氏
(芝浦工業大学環境システム学科教授)
第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉
COOL CHOICE コーナー
推進員活動紹介
事務局からのお知らせ



地球環境を総合課題から捉えるSDGsと大学教育

芝浦工業大学環境システム学科教授 作山 康

私が所属している環境システム学科は建築や都市を含む物的な環境について、地球的観点から多面的に考える教育研究を行っています。環境は自分を除く全てが対象であり、温暖化や環境問題といった狭義の領域ではありません。都市(土木も含む)や建築のように、人間が住み働く環境形成の上で重要である分野を、環境から捉え直すとその重要性が理解しやすく、各専門を横断し関連づけるシステム工学の手法により、総合的解決策を追求する教育研究を行っています。

さて、持続可能な開発目標SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択され、2016～2030年の15年間で達成するための目標であり、それ以前のMDGs (Millennium Development Goals) が主に開発途上国に向けた平和、貧困撲滅、人権、環境保護等の目標であるのに対して、誰ひとり取り残さないよう先進国と後進国が一緒に経済や気候変動に至る様々な分野を総合的に捉えるものです。SDGsは、本学科と共通していることが多く、本年度から世界の共通目標であるSDGsの達成に寄与しつつ、国際社会および地域社会の課題解決手法を学んでいます。大学に限らず環境を専門分野と捉えるのではなく、私たち生活全てに関わる重要なことであるという認識から県民全体が課題を共有化することが必要と考えます。





第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉

～つながろう 広がろう 世代を超えて エコの環～を開催

12月1日（土）、第9回目を迎える本会は芝浦工業大学の協力を得て、同大学大宮キャンパスにて開催しました。今回はSDGsの視点を取り入れ、エコライフ DAY 埼玉表彰式や大学、企業、環境団体等によるパネル展示を行うなど、これまでの基調講演や分科会に加えた新たな試みにもチャレンジをしました。結果、延べ445名が活発な議論を交わしました。更に、フォーラムの副題に新たに追加した「世代を超えて」の言葉どおり、パネル展示や分科会等に大学生による事例報告や教授陣によるレクチャーも加わり、世代間同士のつながりの中で、SDGsや環境問題等について考える貴重な一日となりました。



基調講演の様子



分科会の様子①



分科会の様子②



分科会の様子③



中小企業の 省エネ支援



プラットフォームセミナーの様子

平成23年度から埼玉県が実施している「埼玉県省エネナビゲーター事業」の事務局として、今年度は37件の中小事業所を対象とした省エネ診断を支援しました。さらに、昨年度から経済産業省の補助事業である「埼玉県省エネ促進プラットフォーム事業」を実施しており、16社19事業所に対して省エネ対策支援を行いました。

今年度も、県の省エネ診断受診事業所がさらなる省エネ対策のステップアップを目指し、当支援を利用してくれました。事業所内の使用機器の電力消費量や熱量の測定を受けたり、設備の省エネ更新の検討を行うところもありました。今後さらに省エネ支援の取組について多くの事業所に知ってもらい、それぞれの事業所に対応した支援を進めていきたいと考えています。



森のGOODJOB体験学習会 in 秩父を開催



恒例の“森のGOODJOB体験学習会 in 秩父”を、秋の行楽シーズンである10月28日と11月10日の2回開催しました。両日とも快晴に恵まれ、森の体験を満喫することができました。都市部に住む多くの家族が秩父市吉田の森に訪れ、森のことを学習した後、木を伐採したり、森の中でキノコや植物を観察したり、森の材料でリース作りをしたりと、盛りだくさんのプログラムを体験してもらいました。特に、秩父市役所森づくり課様や地元の猟師様たちのご支援をいただき、とても充実した体験学習会となりました。今森林で課題となっ

ているのが獣害問題です。捕獲し解体したイノシシやシカの肉を頂きながら、獣害の被害についての学習や生きものへの感謝を皆で体感しました。都市住民が森へ出向くことで、森のことを理解し、森の保全への一歩となるよう今後もこの活動を続けていきたいと思っています。今年度は、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」の助成を受けて開催できたことを感謝いたします。



第9回埼玉自然エネルギーフォーラム

～自然の恵みをエネルギーに、そして私たちにパワーを！～を開催

毎年開催しています市民共同発電フォーラムを、昨年度から“自然エネルギーフォーラム”とし、1月14日、会場は大宮ソニック市民ホールで、地域エネルギーの具体的な取組について学習しました。私たちの使うエネルギーは私たち自身の手で作りたいという声を良く耳にしますが、実際の取組が日本の各地域で始まっています。今回は、映画「おだやかな革命」の上映をとし、自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりについて、参加者の皆様と一緒に考えてみました。映画は国内における太陽光、小水力、バイオマスなどの自然エネルギー事業と地域の伝統、産業、暮らしなどの再生を同時に進めていく取組が紹介されていました。さらに、「秩父版シュタットベルケ」として再生可能エネルギーの地産地消と地域経済の活性化を目指す取組について、秩父市環境立市推進課の新井課長様からご紹介いただきました。参加者が80人を超え関心の高さが伺えるフォーラムでした。



フォーラムの様子

うちエコ診断

今年度も「首都圏ネットうちエコ診断実施事務局」として、パルシステム埼玉の組合員やさいたま市在住・在勤の方を対象に、あわせて23件のうちエコ診断を実施しました。受診者からは「自分がやっていることがまちがいないと確認できた」「省エネに対し意識するようになり、ライフスタイルを変える努力をしています」といった声がありました。環境ネットワーク埼玉では、次年度も首都圏ネットうちエコ診断実施事務局を続ける予定です。



うちエコ会場診断の様子

ドイツエコスタディツアー報告

Bioenergiedorfes ビオエネルギー村を訪問

映画「シェーナウの想い」で有名になった、ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州のシェーナウ近くのヘーゲルベルク村（シュタイネン）を訪問しました。人口750人、世帯数250件と自然豊かな小さな山村です。2011年から地域エネルギー設立に着手し、2014年から電気と温水を村の全世帯に供給しています。地域で再生可能エネルギーを自給自足していることにより、2012年にドイツ国からBioenergiedorfes ビオエネルギー村として公認を受けました。見学するに当たり、まず元村長で代表取締役会長のユルゲンレッシュ氏から、村の学習施設にて説明を受けました。ビオエネルギー村を実現するためには、①プラン→②アイデア→③技術→④会社設立→⑤資金の確保→⑥インフラ→⑦完成の手順を踏んでいかなければならない。また設立にあたって資本金がゼロだったため、行政や銀行を説得し賛同者を募ったり、暖房施設を作るのに国の銀行から謝金したりと資金集めに苦労した。“子供たちに受け継ぐ、エネルギー村を作りたい！”という熱き思いで各機関や人を説得したそうで、資金集めにはビジョンが重要であると言っていました。



熱供給施設

村は冬寒いので、主に消費するエネルギーは暖房になります。システム的には、各家庭に熱供給を行い暖房に利用してもらいます。電気は村で100%消費し、残った電気はネットエージェントに送るとのことです。村の家々には地下にボイラー室があり、以前は重油等を燃やして全館暖房をしていましたが、今は集中配管でお湯が供給されるため、空いたボイラー室は他に有効利用ができて喜ばれているとのこと。再エネの利活用は、地域のバイオマス資源であるとうもろこしと草（GRASS）を小さく刻んでメタン発酵を行い、そのガスでタービンを回し電気を発生させ、252.2kWを送っています。一方、メタン発酵を行う際の廃熱で温水を作り、広葉樹の先端部分（チップ）



村の関係者との意見交換会

を燃やしてさらに加温し各家庭に83.7℃のお湯を送ります。61.5℃で戻ってきたお湯を同じ方法で加温し再度循環させます。そのオペレーションマネジメントは機械の技術者だった村民が一人で行っているとのこと。村の人々と意見交換を行った際に印象深かったことは、「FUKUSHIMAショックはドイツには大きかった。ドイツ人は合理的で、どっちが得か、どっちが安全かで選択する。大きなエネルギー会社に依存するのはリスクが高い。サウジが石油の栓を締めたら終わる！私たちは、地域エネルギーをリスクが少ないと考える」とのことで、感慨深い言葉でした。

パリクラブ21埼玉

イブニング・パリクラブを開催

パリクラブ21埼玉では、仕事帰り等に気楽に立ち寄れる学習会として、今年度はSDGsをテーマとして定期的に6回を開催しました。第1回ジャパンSDGsアワード外務大臣賞を受賞したサラヤ株式会社や、生活協同組合コープみらい等から先駆的な取組事例を紹介していただいたほか、海外における事例や中小企業のSDGsなど、毎回会員のニーズに合わせたテーマを設定し、少人数でアットホームな勉強会となりました。





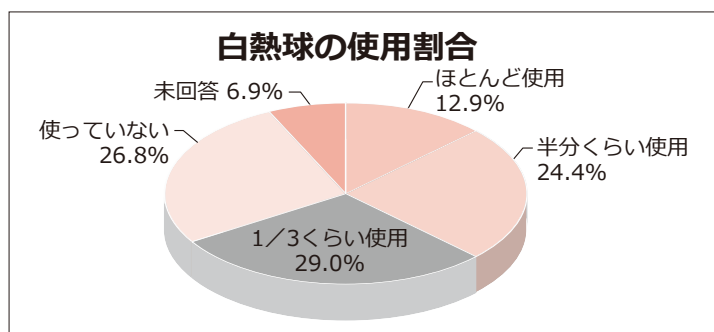
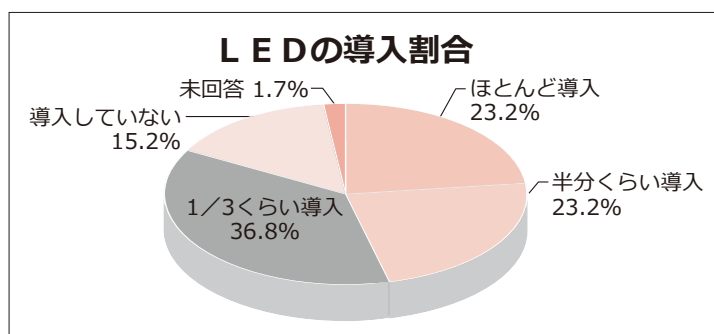
COOL CHOICEコーナー

COOL
CHOICE

〔 照明に関するアンケートを実施 〕

埼玉県が今年度12月から開始した「彩の国LED照明推進キャンペーン」の応援団体ということもあり、「家庭の照明に関するアンケート」を実施しました。結果、県内665名から回答をいただきました。

LEDを導入している割合をみると、家庭の中で半分以上LEDを導入している割合は、全体の46.4%あることがわかりました（図1）。一方、白熱球を使っている家庭の割合は66.3%あり（図2）、LED照明へ買換えの余地があることがわかりました。LED照明を選択することはCOOL CHOICEでも推進しており、今後さらなる導入促進が望まれます。



上) 図1：LED導入割合 下) 図2：白熱球使用割合

〔 COOL CHOICE賛同数 〕

今年度も引き続き各種イベント等や企業・団体等にCOOL CHOICEの賛同を呼びかけ、個人賛同者数はこれまでで最大となる**1,041**人の賛同を得ました。さらに5団体からも賛同を得て、これまでの3年間で計**30,174**人のCOOL CHOICE賛同者を得ることができました。



COOL CHOICE啓発の様子

推進員活動紹介

埼玉県では現在162名の推進員が県内各地域で活躍し、当センターとも連携を図りながら温暖化防止に関する普及啓発活動を行っています。今回は、平成28年度から推進員になられた**吉田征人**さんの活動についてご紹介します。吉田さんは、委嘱後から積極的に研修会やセミナー等に参加され、ご自身のスキルアップに努めるとともに、低炭素まちづくりフォーラムin埼玉実行委員としても分科会を担当されるなど、知見と実績を重ねています。またご自身でも地域の小中学生等を対象に講座を開催され、多くの市民へ温暖化防



吉田さん講座開催の様子

止について働きかけています。中でも、2019年1月に実施された「地球温暖化と私たちの暮らし」と題した講座では、**クールチョイス**をクイズ形式で出題したり、**二十四節気**のクイズを交えながら放課後児童クラブの小学生32名を対象に楽しい講座を開催されました。ご本人も「熱心に地球温暖化の話を聞いてくれて、後半のクールチョイスクイズでは大いに盛り上がり、やりがいを感じた」とコメントされています。こうした推進員の力強い支えをいただきながら、当団体も引き続き温暖化防止の啓発等に努めてまいります。



●事務局からのお知らせ

平成31年度 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉 通常総会のお知らせ

日時 2019年6月16日(日) 13:30~16:30

会場 埼玉会館 3C会議室

内容 ① 講演会 (13:30~14:30)

「環境報道と環境活動 毎日新聞社の実践 (仮題)」

斗ヶ沢 秀俊氏 (毎日新聞社営業総本部プロデューサー兼東京本社編集編成局編集委員)

② 通常総会 (15:00~16:30)

*詳細は後日お知らせいたします。なお、講演会はどなたでもご参加いただけます。

COOL CHOICEイメージキャラクター 「君野イマ」「君野ミライ」のご紹介

主に若年層に向けて地球温暖化対策を伝えていくため、イメージキャラクターとして「君野イマ」「君野ミライ」が誕生しました。当センターを含め関東14の地域センターでは「君野イマ」「君野ミライ」の立て看板を用い、イベント等でより多くの方々にCOOL CHOICEの普及拡大を推進しています。



<<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>>

クールチョイス

検索

★会員募集★

活動を支援してくださる会員を募集しています！
詳しくは事務局までお問合せください。

	個人	団体 (非営利)	団体 (企業)
正会員	5,000 円	5,000 円	50,000 円
賛助会員	3,000 円	3,000 円	10,000 円

*会費は年会費です (年度更新)。

*正会員は社員として議決権が付与されます。

*個人の賛助会費及び寄付は、税の優遇対象です。

■表紙の写真より■



ドイツ南部のバイエルン地方は、アルプスに近接している地方です。屋根には多くの太陽光発電が設置されています。表紙写真は、フュッセン郊外のホッペン湖畔にあるレストランの屋根に設置された太陽光発電です。

編集・発行

発行日 2019年3月29日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-749-1217 FAX: 048-749-1218

<http://www.kannet-sai.org/index.html>

閉館日: 土・日・祝日 開館時間: 9時~17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

